

ナンバリングコード B2THB-caxG-1N-Lg1 授業科目名 (時間割コード:000413) 主題B-4「文化と科学・技術」 How Culture Shapes Science and art はじめて学ぶDRI イ Introduction to DRI	科目区分 主題科目	時間割 2021年度 1Q火1	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 主題B	提供部局:大教センター DPコード:cax	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 講義 グループワーク	単位数 1	
担当教員名 小坂 有資, 西本 佳代	関連授業科目 DRIイノベーター養成プログラム対象科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分×7回+授業45分+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)			
授業の概要 【キーワード】 DRI、地域活性化 現代日本社会が抱える課題のひとつとして地域活性化が挙げられます。香川大学では、地域活性化を担う人材を育成するため、DRI教育を推進しています。DRIとは、「デザイン思考(D)」、「リスクマネジメント(R)」、「インフォマティクス(I)」の頭文字です。これらの能力の習得が、地域の課題を解決するための基礎となります。この授業では、地域が抱える課題を確認した後、D・R・Iそれぞれが地域活性化とどのように関わっているのか学びます。そして、DRIを地域活性化にどのようにいかせるか、グループで話し合い、発表します。DRIを地域活性化にどのようにいかせるか考えることによって、現代日本社会が抱える課題に対する探求能力を養います。			
授業の目的 DRIについて学びながら、DRIを地域活性化にどのようにいかせるか、考え、説明することができる。			
到達目標			
1. DRI とは何か説明できる。 2. DRI を地域活性化にどのようにいかせるか、自分の言葉で説明できる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。 3. 自分の主張をわかりやすく表現することができる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
成績評価の方法と基準 レポート60%(到達目標1、2、3に対応)、グループ発表25%(到達目標2、3に対応)、コメントシート15%(特に到達目標1、3に対応)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
【授業計画】 第1回 オリエンテーション(小坂有資・西本佳代) 第2回 地域の課題を考える(小坂有資・西本佳代) 第3回 デザイン思考を活用した地域活性化(石塚昭彦)(遠隔・オンデマンド) 第4回 リスクマネジメントを活用した地域活性化(井面仁志)(遠隔・オンデマンド) 第5回 インフォマティクスを活用した地域活性化(林敏浩)(遠隔・オンデマンド) 第6回 DRIを地域活性化にどのようにいかせるか?(小坂有資・西本佳代) 第7回 DRIを地域活性化にどのようにいかせるか?(小坂有資・西本佳代) 第8回 まとめ(小坂有資・西本佳代)			
【授業方法】 第1回と第2回は、講義とグループワークを行います。第3～5回は講義(遠隔・オンデマンド)を行います。そこで得た理解をもとに第6回のグループワークと第7回の発表を行います。 この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て遠隔へ変更する可能性があります。			
【自学自習のためのアドバイス】 【自学自習のためのアドバイス】 第1回 グループで取り組む地域課題で、(1)自分自身と関連のある具体的な地域課題の現状を調べて、(2)その地域課題の解決策に関するレポートを作成する。 第2回 授業中のグループワークで作成した地域課題の解決策を自分の言葉でまとめるレポートを作成する。 第3～5回 D・R・Iのポイントをコメントシートにまとめる。 第6回 第7回の発表のための準備をする。 第7～8回 (1)DRIを学んだ前後で地域課題の解決策がどのように変わったか、(2)本授業でどのような学びがあったかをレポートにまとめる。			
教科書・参考書等 教科書・参考書等は授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー まずは、コーディネーターの小坂にご連絡ください。小坂が、他の先生方にお伝えしま			

す。

ちなみに小坂のオフィスアワーは、水曜日12～14時で、場所は幸町北5号館5階です。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本授業は、DRIイノベーター養成プログラムの必修科目です。DRIイノベーター養成プログラムに参加する人は必ず履修してください。

15分以上の遅刻は欠席として扱います。

ナンバリングコード B2THB-caxG-1N-Lx1 授業科目名 (時間割コード:000414)	科目区分 主題科目	時間割 2021年度 3Q集中	対象年次 1～
主題B-4「文化と科学・技術」 How Culture Shapes Science and art	水準 学士:基礎科目 分野 主題B	提供部局:大教センター DPコード:cax	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
はじめて学ぶDRI ロ Introduction to DRI	授業形態 講義	単位数 1	
担当教員名 小坂 有資, 西本 佳代	関連授業科目 DRIイノベーター養成プログラム対象科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分×7回+授業45分×1回+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)			
授業の概要			
【キーワード】DRI、地域活性化 現代日本社会が抱える課題のひとつとして地域活性化が挙げられます。香川大学では、地域活性化を担う人材を育成するため、DRI教育を推進しています。DRIとは、「デザイン思考(D)」、「リスクマネジメント(R)」、「インフォマティクス(I)」の頭文字です。これらの能力の習得が、地域の課題を解決するための基礎となります。この授業では、地域が抱える課題を確認した後、D・R・Iそれぞれが地域活性化とどのように関わっているのか学びます。そして、DRIを地域活性化にどのようにいかせるか考えることによって、現代日本社会が抱える課題に対する探求能力を養います。			
授業の目的			
DRIについて学びながら、DRIを地域活性化にどのようにいかせるか、考え、説明することができる。			
到達目標			
1. DRI とは何か説明できる。 2. DRI を地域活性化にどのようにいかせるか、自分の言葉で説明できる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。 3. 自分の主張をわかりやすく表現することができる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
成績評価の方法と基準			
ミニレポート5%(到達目標3に対応)、レポート65%(到達目標1、2、3に対応)、コメントシート30%(到達目標1、3に対応)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
【授業計画】			
第1回 オリエンテーション (小坂有資・西本佳代) (遠隔) 第2回 この授業を受講しようと思った理由 (小坂有資・西本佳代) (遠隔) 第3回 地域社会の課題を3つ考える (小坂有資・西本佳代) (遠隔) 第4回 地域社会について考える (小坂有資・西本佳代) (遠隔) 第5回 デザイン思考を活用した地域活性化 (石塚昭彦) (遠隔) 第6回 リスクマネジメントを活用した地域活性化 (井面仁志) (遠隔) 第7回 インフォマティクスを活用した地域活性化 (林敏浩) (遠隔) 第8回 まとめ (小坂有資・西本佳代)			
【授業方法】			
授業は、すべてオンデマンド型授業です。授業のコンテンツは、Moodleの「はじめて学ぶDRI ロ」のコースに掲載されます。1週間につき授業1回というペースで進めていき、毎週火曜日に新たな授業のコンテンツが視聴可能になります。 この科目は全回遠隔授業を行います。			
【自学自習のためのアドバイス】			
第2回 この授業を受講しようと思った理由をミニレポートにまとめる。 第3回 地域社会の課題を3つあげるミニレポートを作成し、また各自で取り組む地域課題を決定しその背景を調べてレポートにまとめる。 第4回 地域課題の解決策を考えレポートにまとめる。 第5～7回 D・R・Iのポイントをコメントシートにまとめる。 第8回 (1)DRIを学んだ前後で地域課題の解決策がどのように変わったか、(2)本授業でどのような学びがあったかをレポートにまとめる。			
教科書・参考書等			
教科書・参考書等は授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー まずは、コーディネーターの小坂にご連絡ください。小坂が、他の先生方にお伝えします。 ちなみに小坂のオフィスアワーは、水曜日12～14時で、場所は幸町北5号館5階です。			

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本授業は、DRIイノベーター養成プログラムの必修科目です。DRIイノベーター養成プログラムに参加する人は必ず履修してください。
毎週月曜日に授業に関する連絡を、香川大学教務システムDream Campusから送ります。